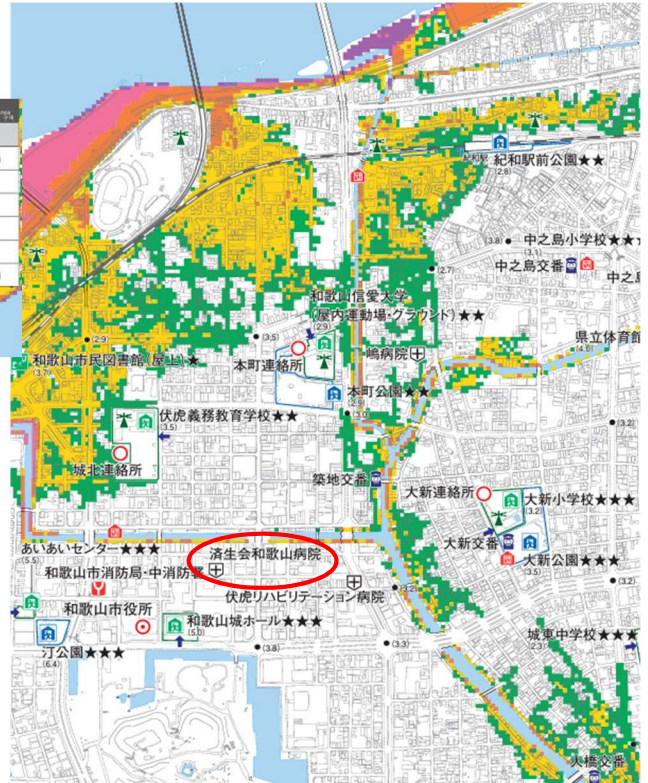
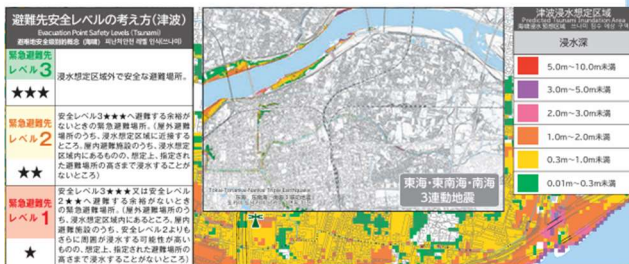


南海トラフ地震臨時情報 巨大地震注意

ニュースなどでご存じだとは思いますが、2024年8月8日(木)午後4時43分 九州南部・日向灘で震度6弱の地震が発生しました。気象庁は南海トラフ沿いで近い将来に巨大地震が発生する危険性が平時より高まっているとして「南海トラフ地震臨時情報 巨大地震注意」を発表しました。この巨大地震注意は、少なくとも1週間は地震への備えを再確認することと地震が発生したらすぐに避難するための準備をするための注意報です。

済生会和歌山病院では万が一の場合に備えて8日夕方から発災時の対応について話し合いを行っています。院内の備蓄は、入院患者様・職員の非常食・水を3日分確保できており、定期的に自家発電機の作動確認もしております。



当院はハザードマップ上で津波の浸水被害を受けない場所に位置しています。

和歌山市のホームページからお住まいの地域のハザードマップが確認できますので、アクセスしてみてください。



和歌山市防災マップ

災害の備えとして、非常持ち出し袋や備蓄品の点検をしておきましょう。

- 保険証やお薬手帳のコピー
- 携帯ラジオ
- ポータブル充電器
- 非常食 (家族人数×3日分)
- 飲料水 (1~2L/人×人数×3日)
- トイレットペーパー
- 下着類
- 懐中電灯
- ヘルメット、軍手
- カセットコンロ、ガスボンベ 等

他にも様々な物品が必要かと思えます。備蓄品は一度にたくさん購入するのではなく、少しずつ準備していきましょう。消費期限のあるもの(レトルト食品や水)や消耗品(ティッシュや洗剤など)はローリングストックといって、普段から多めにストックしておき、賞味期限の近いものから消費し、新たに買い足すと無駄なく効率的に備蓄することができます。

また、お近くの避難所の確認もし、御家族で共有しておきましょう。

不安になりすぎず、普段の備えを見直す機会と考え、御家族で防災について話し合ってください。